

3月22日（日）開催の

第18回自然科学研究機構シンポジウム「生き物たちの驚きの能力に迫る」への参加のお申し込みを受付中です。

特別企画「高校生記者」も含め、お申し込みはまだ間に合います。

ご登録はお早めに！

参加のお申し込みはこちらから↓

<http://www.nins.jp/sympo18.php>

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

-----  
INDEX  
-----

1. シンポジウム参加申し込み受付中
2. 高校生記者募集中（シンポジウム関連イベント）
3. 高校生記者による第17回シンポジウム取材記事
4. 各研究機関のイベント情報
5. 最新の研究成果・ニュース
6. 編集後記

- 
1. シンポジウム参加申し込み受付中
- 

3月22日（日）開催の第18回自然科学研究機構シンポジウムへの参加のお申し込み受付中です。

また、ポスター等も同じ Web サイトからダウンロードできます。ぜひご覧ください。

<http://www.nins.jp/sympo18.php>

<シンポジウム概要>

◆タイトル：第18回自然科学研究機構シンポジウム  
「生き物たちの驚きの能力に迫る」

◆概要：

生き物の驚きの能力とそれに迫る研究者の姿を紹介すると共に、様々な立ち位置から生き物に関わる講演者を迎え、自然や生物と人との関わり合いを多様な視点から見つめなおす機会とする。

◆日時：平成27年3月22日（日） 10:00～17:00

◆会場：一橋講堂（講演用）及び中会議場2、3、4（展示用）  
（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター）

◆申込方法：下記サイトからお申込みください  
<http://www.nins.jp/sympo18.php>

◆動画配信：ニコニコ生放送及び USTREAM によるリアルタイム中継  
※上記 Web ページよりご視聴頂けるようになります。  
当日会場までお越し頂くことが難しい方は、ぜひこちらをご覧ください。

◆プログラム：

10:00-10:05

機構長挨拶／佐藤勝彦（自然科学研究機構 機構長）

10:05-10:10

趣旨説明／山本正幸（基礎生物学研究所 所長）

10:10-10:50

「環境によって性が決まる！ミジンコの不思議」／井口 泰泉（基礎生物学研究所 教授）

10:50-11:20

「サンゴと褐虫藻の切ってもきれない関係」／高橋 俊一（基礎生物学研究所 准教授）

11:20-12:00

「干からびても蘇る！ネムリユスリカの極限乾燥耐性」／黄川田 隆洋（農業生物資源研究所 主任研究員）

12:00-13:30

昼休み、パネル見学

13:30-14:10

「不死の生殖細胞の不思議に迫る」／小林 悟（基礎生物学研究所 教授）

14:10-14:50

「不思議な蝶の翅をまねた物作り～発展するバイオミメティクスの世界」／広瀬 治子（帝人株式会社 構造解析センター 形態解析グループリーダー）

14:50-15:10

休憩

15:10-15:50

「花と昆虫の共進化と共生を追って」／山口 進（写真家・自然ジャーナリスト）

15:50-16:10

「小さな生きものたちの紡ぐ大きな物語 — 普遍と多様をつなぐ」／中村 桂子（JT 生命誌研究館 館長）

16:10-16:20

休憩

16:20-16:55

パネルディスカッション（立花 隆、中村 桂子、井口 泰泉、小林 悟、山本 正幸、他）

16:55-17:00

閉会挨拶／山本 正幸（基礎生物学研究所 所長）

---

## 2. 高校生記者募集中（シンポジウム関連イベント）

---

前回好評だった「シンポジウム関連イベント『高校生記者』」を  
今回も開催します！ご応募はまだ間に合います！  
高校生の皆様のご応募、お待ちしております。

「高校生記者」の詳細・ご応募はこちらから↓  
<http://www.nins.jp/sympo18.php>

### <高校生記者>

高校生の皆さんを、講演者取材する場へ「高校生記者」として  
ご招待いたします（応募者多数の場合には人数を限らせて頂く場合が  
ございます）。執筆頂いた記事は、当機構のウェブサイト等に掲載  
させて頂く予定です。

今回は、昼休みの時間を利用し、当日の講演者の一人で、  
サンゴの白化現象の研究などに取り組んでいる  
自然科学研究機構 基礎生物学研究所の高橋俊一准教授とご交流頂けます。  
また、高橋俊一准教授の解説付きでセイタカイソギンチャクと  
イソギンチャク内に共生する褐虫藻の顕微鏡観察をご体験頂けます。  
観察結果は画像や動画としてお持ち帰り頂けます。

（USB メモリをご持参ください）

シンポジウムの感想や研究者との交流の感想などを 500 字程度で  
ご執筆頂き、「自然科学研究機構のウェブページ」等に掲載させて  
頂ける方を優先させて頂きます。

---

## 3. 高校生記者による第 17 回シンポジウム取材記事

---

第 17 回自然科学研究機構シンポジウム（2014 年 9 月 23 日開催）にて、  
事前に応募のあった高校生が記者として講演者に取材をしました。  
個性豊かな力作の一部をご紹介します。

「脳と記憶」（長野県立松本深志高等学校 廣瀬 由悟 さん）

今回、記憶についてのシンポジウムに参加させていただき、ありがとうございました。今回のシンポジウムはと  
ても興味をそそられる講演ばかりで楽しかったです。

さて、記憶についてもいろいろと分かったことがあります。

まず、記憶の忘却の種類についてです。記憶には、脳の・・・・・・

※続きは [http://www.nins.jp/public\\_information/hsreport/sympo17.php](http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo17.php)

---

「(タイトルなし)」 (渋谷教育学園幕張高等学校 林 香織 さん)

「事実と真実がぶつかった時、私たちは真実に道を譲らなければならない」と、今回のシンポジウムのトップバッターである岩田教授が仰っていたことを私は今でも鮮明に覚えている。

私たちは、私たちの脳は、この世界で起きている全ての「事実」を自分の思うようにしか認識できない。それは・・・・・・・・

※続きは [http://www.nins.jp/public\\_information/hsreport/sympo17.php](http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo17.php)

「実は身近な脳科学」 (埼玉県立川越女子高等学校 須田 華那 さん)

9月23日(火)千代田区の学術総合センターで、第17回自然科学研究機構シンポジウムが開催された。今回のテーマは「記憶の脳科学～私達はどのようにして覚え忘れていくのか～」である。私にとっては難しいような身近なようなそんな印象だ。

尚、シンポジウム終了後に設けられた、高校生記者対象の取材会に参加した。ここではその内容をQ&A形式で記したいと思う。取材させて頂いた・・・・・・・・

※続きは [http://www.nins.jp/public\\_information/hsreport/sympo17.php](http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo17.php)

「いま、記憶を考える」 (東京都立武蔵高等学校 梅本 真衣 さん)

近年の科学の進歩は目覚ましいものである。SFの中だけだったものが、現実味を帯びてきている。そのなかでも私は、アンドロイドについて興味があり、脳科学に視点を置いてみたいと思い、このシンポジウムに参加した。

シンポジウムの最後のパネルディスカッションにおいて「記憶とは何なのか」という話題になった時、柿木先生が・・・・・・・・

※続きは [http://www.nins.jp/public\\_information/hsreport/sympo17.php](http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo17.php)

◆その他の「高校生記者」による記事はこちら↓

[http://www.nins.jp/public\\_information/hsreport/sympo17.php](http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo17.php)

◆取材を受けた講演者(柿木隆介教授、苧阪満里子教授、井本敬二所長)のプロフィールはこちら↓

[http://www.nins.jp/public\\_information/pdf/sympo/sympo17\\_3profile.pdf](http://www.nins.jp/public_information/pdf/sympo/sympo17_3profile.pdf)

#### 4. 各研究機関のイベント情報

◆3月18日：市民公開講座 第104回分子科学フォーラム@愛知県岡崎市

「総力と本気で 地震を克服する」

[https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2014/12/04\\_3057.html](https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2014/12/04_3057.html)

◆4月11日：特別観望会 2015春@岡山県浅口市鴨方町

※応募締切：2015年3月20日(金)必着

<http://www.oao.nao.ac.jp/public/event/sp2015s/>

---

## 5. 最新の研究成果・ニュース

---

### 【国立天文台】

◆新星爆発は宇宙のリチウム合成工場だった

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150218-subaru.html>

◆アルマ望遠鏡、巨大ブラックホール周囲に驚くほどマイルドな環境を発見

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150226-alma.html>

◆スーパーコンピュータ「京」で解き明かした宇宙線加速：天体衝撃波における高エネルギー電子生成機構の新理論を発表

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150227-cfca.html>

◆2015年4月4日夜、皆既月食の色を観察・報告するキャンペーンを実施

<http://www.nao.ac.jp/news/topics/2015/20150304-lunar-eclipse.html>

◆すばる望遠鏡が捉えたラブジョイ彗星（C/2013 R1）の尾の素早い変化

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150305-subaru.html>

### 【核融合科学研究所】

◆対流の抑制 –スーパーコンピュータによる数値シミュレーション–

[http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo\\_250.html](http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_250.html)

◆プラズマ中の水素負イオン密度を測る –負イオン源の高性能化を目指して–

[http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo\\_251.html](http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_251.html)

### 【基礎生物学研究所】

◆APC2の機能不全がソトス症状の原因である

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/03/06.html>

### 【生理学研究所】

◆正常な顔認識に必要な脳内ネットワークを解明

<http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2015/03/post-288.html>

---

## 6. 編集後記

---

3月22日のシンポジウム開催に向けて、準備もいよいよ佳境を迎えております。

今回は、より講演内容が身近に感じていただけるよう、講演舞台上に“あるもの”を準備する予定です。

また、展示会場も、これまでの約1.5倍の広さとなり、余裕を持ってご覧いただけます。

これを機に、パワーアップした自然科学研究機構シンポジウムに、ぜひ一度足をお運びください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jp までお寄せ下さい。

---

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、自然科学研究機構（NINS）や NINS の各研究機関（※）が開催するイベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。

（※NINS は、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所の 5 つの研究所から成り立ち、自然科学研究の広い分野をカバーしています。 <http://www.nins.jp/>）

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>

発行システム：『まぐまぐ！』 <http://www.mag2.com/>

バックナンバー：[http://www.nins.jp/public\\_information/mailmagazine.php](http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php)

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：

<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

---

Copyright(C)2015 NINS All rights reserved.

---